

圧力式連続指示計（PL-110N型）取扱説明書

概略

PL-110N型指示計は、圧力センサーとして高精度な拡散型半導体素子を採用しています。受圧部の構造は、二重ダイヤフラム構造であり、しかも材質がSUS-316で構成されている為、耐食性にすぐれています。腐食物質を含む広範囲な測定物にご使用頂けます。センサー部からは、液圧に比例した信号が変換部に送られます。伝送信号は、耐ノイズ性を考慮して電流信号となっています。変換部では、センサー部からの信号に適当な電氣的処理を行い、液面レベルに比例した信号を出力します。

特長

接液部は耐食性にすぐれたSUS-316を使用しています。

センサー部、変換部とも小型で設置工事が容易です。

比重の変動を除き、液の性質の変化等の影響を受けません。

センサー部と変換ユニット間は、二線式で最長500mまで離せます。

仕様

電源入力 : AC100 / 200V \pm 10% 50 / 60Hz
出力 : DC4mA~20mA (抵抗負荷450以下)
: DC0V~10V (抵抗負荷5k以上)
測定範囲 : 水柱0~3m以上フルスケール (最大は、水柱10m以下)
使用温度 : 10 ~ 40

注意

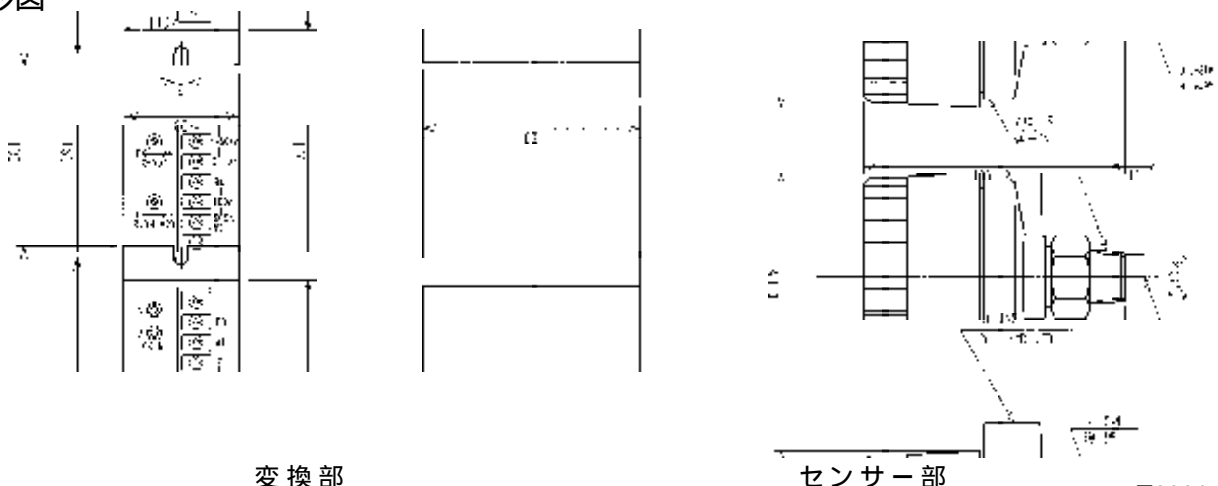
センサー部のダイヤフラム面には、196KPa (2kg/cm²)以上の圧力を加えないで下さい。

御注文に際しては、測定範囲のおおよその限定が必要です。

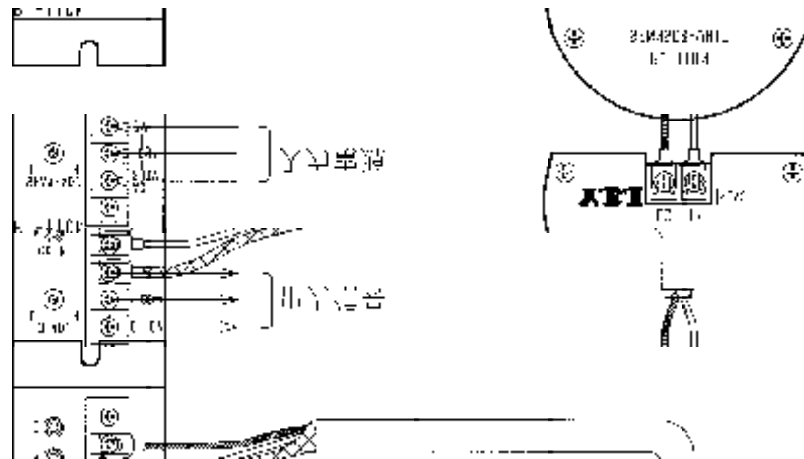
リーク取出口が必ず下を向く様に取付けて下さい。

リーク取出口から水、砂、ほこり等が入らない様にして下さい。

外形図



結線図



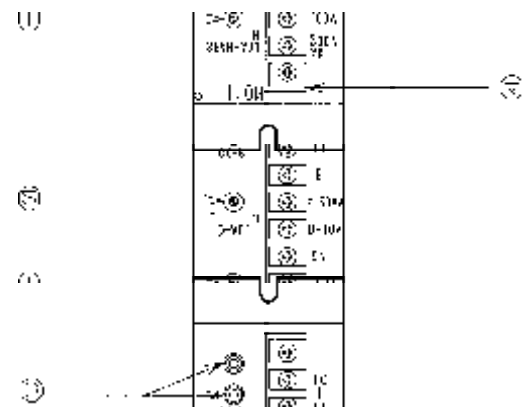
調整方法

スパン測定用ボリューム

0点調整用ボリューム

チェック用端子 (0 - 10Vが出力される)

入出用端子台



- 1) タンク “空” の状態で、 のつまみにより0点調整を行って下さい。時計まわりで出力が増加します。
(この時 のつまみは、最大にしておいて下さい。)
- 2) 次に測定物を測定範囲の上限迄、投入した状態で、 のつまみによりスパン調整を行って下さい。
時計まわりで出力が増加します。